

安全上のご注意 必ずお守りください

この電気カーペットは、床に敷いてカーペットカバーをかけて暖をとるために使用するもので、一般家庭用として生産されたものです。これ以外のご使用は絶対にしないでください。この用途以外(観賞魚・植物・ペット用など)及び一般家庭用以外(業務用など)でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

絵表示について

※ここに示した「安全上のご注意」は、あなたや他の人の危害や損害を未然に防止するためのもので、『危険』『警告』『注意』の3つに分けてお知らせしています。

いざなも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください

危険 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う危険の発生が想定される内容を示します。

警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。

注意 取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を示します。

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分して説明しています。(下記は絵記号の一例です。)

※記号の中の絵が具体的な内容になります。

禁止 してはいけない『禁止』 **実行** 必ず実行していただく『強制』 内容です。

危険

乳幼児やご自分で温度調節(又は操作)のできない方は付添いなしでは使用しないでください。
●低温やけどの脱水症状を起こすことがあります。

就寝用暖房器具として使用しないでください。
●低温やけどのおそれがあります。

カバーを外して使用しないでください。
●低温やけどのおそれがあります。

低温やけどの脱水症状を起こすことがあります。
時々体を保たずなさい注意して使用してください。

●比較的低い温度(40~60°C)でも、長時間皮膚の同じところに触れていると、赤い斑点や水ぶくれができる低温やけどの原因になります。

●次のような方は特にご注意を!!
お子様、お年寄り、皮膚の弱い方、眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を使用された方や深酒・疲労の激しい方。

●次のような方は、医師と充分にご相談の上お使いください。
●心臓病などで、電気カーペットを使用することが健康上好ましくない方。

差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。
●皮膚が弱いなど暖房に注意が必要な方。

注意

差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜いてください。
●事故の原因になります。また、思わぬ誤動作を生じることがあります。

電気カーペット対応のカバーを使用してください。

ぬれた手で差込みプラグ、コントローラー、接続コネクターなどを絶対にさわらないでください。また、水やお茶などの液体をこぼさないでください。
●万が一濡らしたときは、過熱や事故のおそれがありますので直ちにご使用を中止し、販売店に点検を依頼してください。

警告

絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。
●発火したり異常動作をしがることがあります。

分解禁止
キスター付イーストの使用はお止めください。
●発熱体や電源コードを傷め、過熱や感電、火災の原因になります。

コントローラーの周辺では、無線機など、強い電波を発する機器の使用はお止めください。

●誤動作の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

コンセントの差込みプラグがゆるいときは、使用しないでください。また、差込みプラグとコンセントの間にホコリや水分を付着させないでください。

●感電やショート・発火の原因になります。

一般家庭用の交流100V以外では使用しないでください。

●火災・感電の原因になります。

差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。

●発煙・発火のおそれがあります。

ご使用になる前に

■ご使用開始直後、しばらくは、プラスチック、ゴム、塗料等の臭いが気になる場合があります。ご使用するにつれて、臭いは少なくなりますが、気になる場合は、換気をしてください。

禁止

スイッチ部や本体に水・お茶・ジュース等を絶対にこぼさないでください。
もしこぼした場合はご使用を中止し、お買上げの販売店に点検を受けてからご使用ください。

●事故や故障の原因になります。

必ずカーペットカバーをかけて使用してください。

●低温やけどのおそれがあります。

各部の名称とご使用の順序

1『差込みプラグ』をコンセントに差し込みます。

●交流100Vのコンセントに接続して確実に差し込んでください。

2『電源／暖房面積切換スイッチ』

をお好みの位置に合わせます。

●『電源／切忘れランプ』が点灯します。

●ご使用中、コントローラーからときどき音がしますが、これは温度調節器の作動音で故障ではありません。

●最初約2分間は温度調節ツマミの位置に関係なく「強」(運転(速暖モード))となります。ただし使用環境によっては限界がないことがあります。

●速暖運転終了後(約20分経過後)温度調節ツマミの位置が「強」より下の場合、温度調節ツマミの位置に応じた温度に戻り、通常運転となります。

●コーターの表面温度が約20度以上の場合、「弱」付近には暖まるがない場合があります。その場合温度調節ツマミを「弱」まで設定の上、ご使用下さい。

●上記記載条件では速暖モードは動作せず、通常運転となります。

●速暖開始後3時間経過しますと75%の省エネモードで運転します。

※『全面』『右』のそれぞれ一つも不具合が生じた場合は直ちに使用を中心してください。(例:『左』が不具合が生じた場合は『右』であれば正常に作動する。)

3『温度調節ツマミ』をお好みの位置に合わせます。

4使い終りましたら

●『電源／暖房面積切換スイッチ』を「切」にし、差込みプラグを持っています。

●外出などには、差込みプラグが抜いてあることをご確認ください。

コタツと同時に使用するとき

コタツのコントローラーはカーペットの上に置かないでください。

●コタツはカーペットの中央に置いて、部分的にカーペットの温度が上がらないようにして下さい。

●コタツとカーペットなどの定格消費電力の合計が1000W(10A)以上になると、ご使用前に安全装置(ブレーカー)やコンセントの定格をよくお調べください。

●コタツの温度調節ツマミで「中」～「弱」に合わせてお使いください。「強」に近い目盛に合わせるとカーペットの温度が高くなることがあります。

●折りぐれは、ご使用にともない自然になります。

●墨やカーペット本体が湿気を含むためにおこる現象で故障ではありません。

●温度が高い場合や本体が吸湿している場合は、フローリング等の床面に結露することがあります。

●木やビケルなど、熱と力をやすい床面でご使用になる場合は、カーペット本体の下に毛足のないカーペットを敷くと、床面に熱が逃げにくくなります。

●カーペット上面を敷いた上に直接お座りください。座布団やクッションを使いますと、温もりが感じられなくなるだけでなく、本体が過熱して事故の原因になります。

●ひざかけをご使用いただけますとより暖かくなります。

●時々カーペットを動かして床面を掃除し、変色や結露がおこっていないか確認してください。

お手入れと保管について

お手入れのしかた

※お手入れ前に『電源スイッチ』を「切」にし、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。



《表面のホコリ》
●掃除機などで吸い取ってください。
《部分的な汚れ》
●コーヒーメーカーなど、シミが残りやすいものは乾かしながら手洗いしてください。
●中性洗剤(食器用)をぬる湯までうすめ、布に含ませてふき取り、その後水拭きしてください。
《全体的な汚れ》
●中性洗剤(食器用)をぬる湯までうすめ、布に含ませてふき取り、その後水拭きしてください。
●市販のカーペットクリーナーをご使用になる場合は、カーペットクリーナーの『ご使用方法』に従ってください。

カーペット本体がシミで変色しても、シミ取り剤などの薬品は使用しないでください。

カーペット本体がシミで変色しても、シミ取り剤などの薬品は使用しないでください。

保管のしかた

※カーペットクリーナーの種類によってはカーペット本体(発熱体)を傷めるおそれがあります。

●食品のカスや汁などが付着したままで、保管中にカビや虫が発生する原因となります。

●コーヒーメーカーなどの液体や、シミが残りやすい方が付着した場合、カーペット本体の発熱体部分がシミ状に変色するおそれがあります。

《保管前の手入れ》
●食品のカスや汁などが付着したままで、保管中にカビや虫が発生する原因となります。

●カーペット本体が湿気を含むためにおこる現象で故障ではありません。

《温湯の除去》
●『温度調節ツマミ』を『強』に、『電源／暖房面積切換スイッチ』を『全面』に合わせて約3時間通電して湿気を取り除いてください。

《収納のしかた》
●折りたたんで、ご購入時のビニール袋に入れて、箱に収納してください。

《保管場所》
●保管の前に『電源スイッチ』を「切」にし、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。

●温湯の少ない場所に保管してください。

●折りたたんだカーペットの上に重いものを置くのはおやめください。

※防虫剤の使用は絶対におやめください。

生地は化織を使用しています。

ナフタリン・防虫剤の使用は、カーペットやコントローラーを傷めますので絶対におやめください。

《ダニ退治のしかた》
●カーペットの表面を内側にして、コントローラー部を最後のように巻き、ヒモで軽く固定します。

2 カーペットの『電源／暖房面積切換スイッチ』を『全面』に、『温度調節ツマミ』を『強』に合わせます。

3 通電開始後、布団などでカーペット全体を保温させてください。

●保温状態により、ダニ退治効果が変わります。

4 通電1時間後にはダニ退治が終了します。

●通電1時間後にはダニ退治が終了します。

●『電源／暖房面積切換スイッチ』を『弱』にして、カーペットを広げ、掃除機でダニの死骸などをよく吸い取ってください。

●保温状態により、ダニ退治効果が変わります。

5 通電開始後、布団などでカーペット全体を保温させてください。

●保温状態により、ダニ退治効果が変わります。

6 通電1時間後にはダニ退治が終了します。

●通電1時間後にはダニ退治が終了します。

●『電源／暖房面積切換スイッチ』を『弱』にして、カーペットを広げ、掃除機でダニの死骸などをよく吸い取ってください。

●保温状態により、ダニ退治効果が変わります。

7 通電開始後、布団などでカーペット全体を保温させてください。

●保温状態により、ダニ退治効果が変わります。

8 通電開始後、布団などでカーペット全体を保温させてください。

●保温状態により、ダニ退治効果が変わります。

9 通電開始後、布団などでカーペット全体を保温させてください。

●保温状態により、ダニ退治効果が変わります。

10 通電開始後、布団などでカーペット全体を保温させてください。

●保温状態により、ダニ退治効果が変わります。

11 通電開始後、布団などでカーペット全体を保温させてください。

●保温状態により、ダニ退治効果が変わります。

12 通電開始後、布団などでカーペット全体を保温させてください。

●保温状態により、ダニ退治効果が変わります。

13 通電開始後、布団などでカーペット全体を保温させてください。

●保温状態により、ダニ退治効果が変わります。

14 通電開始後、布団などでカーペット全体を保温させてください。

●保温状態により、ダニ退治効果が変わります。

15 通電開始後、布団などでカーペット全体を保温させてください。

●保温状態により、ダニ退治効果が変わります。